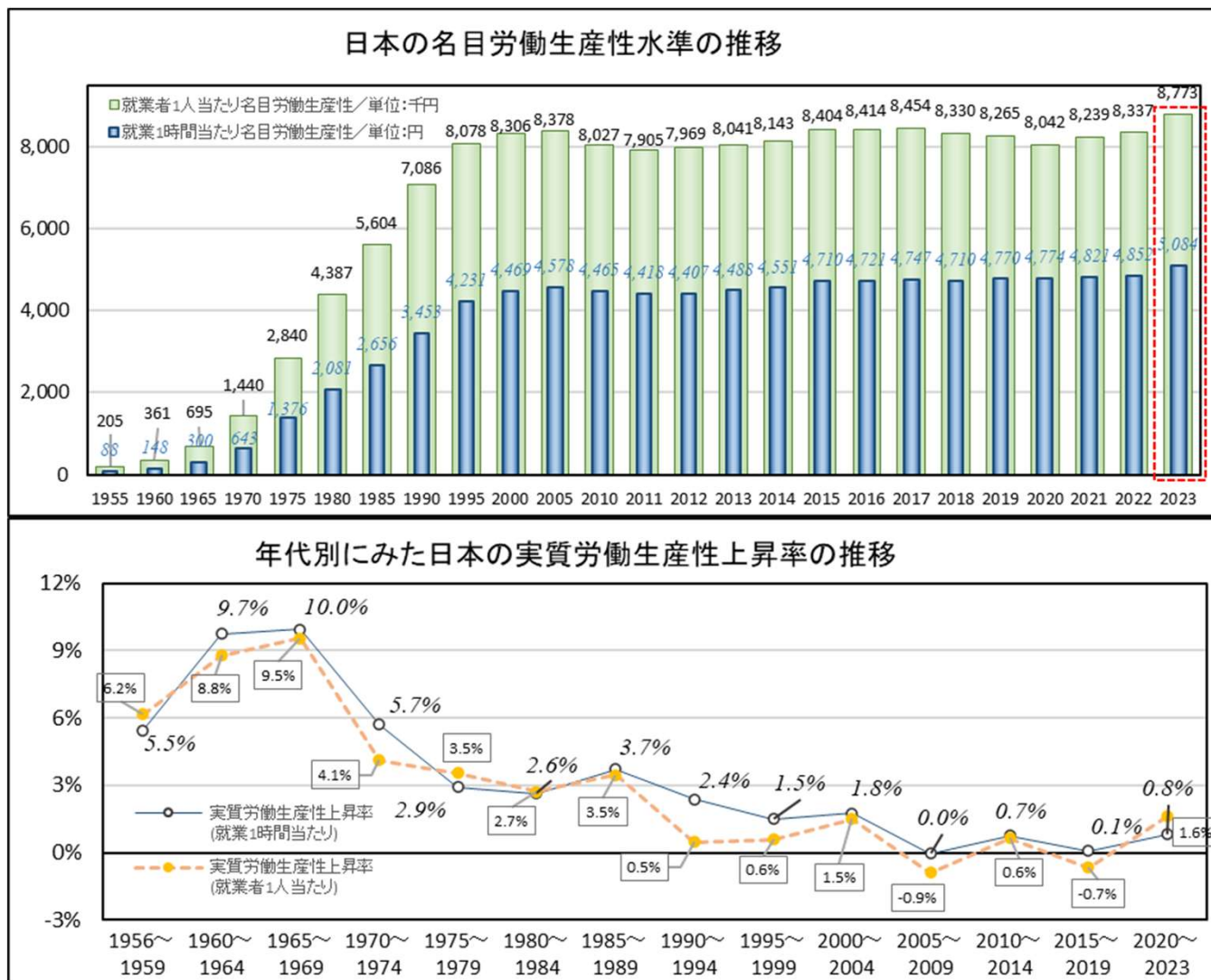


# 日本の労働生産性の推移

- 日本の名目労働生産性水準は、就業1時間当たりで見ると5,084円(2023年)。
- 就業者1人当たりでは877万円(同)。
- 労働生産性上昇率の推移をみると、リーマン・ショック等の影響で2000年代後半(2005～2009年平均)に大きく落ち込んだ。
- 2010年代前半(2010～2014年平均)になって持ち直したものの、2010年代後半(2015～2019年平均)は再び0%近傍に落ち込んでいる。その後2020年代前半になると回復に転じるなど、やや循環的な推移となっている。



※内閣府「国民経済計算」・総務省「労働力調査」・厚生労働省「毎月勤労統計」をもとに日本生産性本部作成